

## 自然公園の役割

優れた自然の風景地の保護と、利用の促進



「国民の保健、休養及び教化」

### 1 自然とのふれあいの場、観光資源としての役割

平成17年度の旅行者へのアンケート(日本観光協会実施)では、宿泊観光の主な目的としては、「自然・名所などの見物や行楽」が24%と一番多く、旅行先での行動も43%の人が自然の風景を楽しんでいるとの結果となっており、自然公園もその舞台となっています。

観光面では、「その地域の「光＝優れたもの」を「観せる」こと、来訪者に自らの地域の誇りを示すことであり、そのことが、自らの地域の歴史や文化、伝統等に対する理解を深め、地域に対する誇りと愛着を育てていく原点ともなる。」もので、自然公園は観光資源としも、地域の活性化という役割を担っていくものと考えられます。

### 2 青少年の健全育成の場としての役割

教育モニターアンケート「子供の体験活動」(平成17年10月広島県教育委員会実施)では、子どもが自然体験を行う機会が不足しているとの意見が72.4%と多く、また、どのような子どもの体験活動が必要ですかとの質問には、山や海・川なので自然体験を充実していくべきとの答が61.5%と多くなっています。

自然公園には、こうした自然体験を望む声に応えていく役割があると考えられます。

### 3 環境問題への意識を高める場としての役割

「自然の保護と利用に関する世論調査」(平成18年6月内閣府実施)によれば、平成13年の調査に比べて、自然への関心があるという意見が、81.9%から85.6%とより高まっているほか、自然を保護することの重要性やそのための教育の必要性への意識が深まっていることが示されています。

また、自然公園をはじめとする森林は、育成林では1ha当りの二酸化炭素の吸収量は一年間に6.5tであり、地球温暖化も問題とも深く関わっています。